

国
小学校学習指導要領「生きる力」の育成

水俣市
郷土の明日をつくる、心豊かな人づくり

令和3年度
児童に重点的に身に付けさせたい力

- 共感・協働できる力
- 課題解決に向かう力
- やり抜く力

熊本県
郷土に誇りを持ち、夢の実現を目指す熊本の人づくり

児童数 38 教職員数 11 (R3.5.1現在)

学校教育目標

ふるさと水俣を愛し、郷土の創造と自己の向上に向けて
能動的に学び続ける、心豊かでたくましい児童の育成

よりゆたかに(共感・協働できる力)

よりかしこく(課題解決に向かう力)

よりたくましく(やり抜く力)

～「勇(優)気・やる気・元気」を持って～

目指す児童像

- 心豊かで思いやりのある子ども
- 意欲的で、粘り強くやり抜く子ども

- 課題意識を持ち、進んで学習する子ども
- 自然や郷土を愛する子ども

水東小の学び

よりゆたかに

勇(優)気

- 共感・協働できる力

相手の気持ちに、よりそえる力と目標に向かって共に力を合わせて活動する力

【現状・課題】

- ・困っている友達を助ける姿はあるが、少人数集団であるため、友だちに対する固定観念ができあがっている。
- ・校内で元気な挨拶はできるが、心を込めた挨拶・校外での挨拶が課題である。
- ・協力はできるが、主体性が乏しい。

【具体的な取組】

- ♥3A(あいさつ・あつまり・あとしまつ)運動プラス1(ありがとう)を推進します。
- ♥年間11回のアンケートと年3回の教育相談等で子どもを見つめ、いじめ等の変化を見逃しません。
- ♥児童会を中心とし、主体的・実践的な活動を大切にします。
- ♥友だちのよさを見つめ直す人権教育の充実を図ります。
- ♥地域の方(こども園、高齢者の方)との交流を大切にします。
- ♥花いっぱい運動・栽培活動の体験活動に取り組みます。

菜の花、サラ玉収穫



よりかしこく

やる気

- 課題解決に向かう力

これまでの学びや、経験を生かし、自ら課題や問いに対して、解決していく力

【現状・課題】

- ・基礎学力が十分定着できていない。
- ・素直に学習や課題には取組むことができるが、主体性や計画性は見られない。
- ・これまでの学びや経験を学習の中で生かすことができていない。
- ・タブレットを使った学習を始めたばかりである。

【具体的な取組】

- ☞学習規律の徹底とICTを活用した授業改善を通じ、主体的・対話的に学ぶ児童を育てる校内研究を進めます。
- ☞年3回きらきらノートコンクールを実施し、本校で統一した学習過程を意識させたノートづくりに取り組みます。
- ☞水東(学力充実)タイムを全ての学年で行い、個に応じた指導を推進します。
- ☞読書の好きな児童を育てます。読書目標：3260冊(低100冊、高70冊)
- ☞家庭と連携し、低学年20分、中学年40分、高学年60分の家庭学習を習慣化します。研究授業

研究授業



よりたくましく

元気

- やり抜く力

目標に向かってあきらめることなく、一歩一歩努力できる力

【現状・課題】

- ・自己肯定感の高い児童と低い児童の二極化が見られる。
- ・外遊びをしている児童が固定化している。
- ・目標を持って縄跳びに取組むことができる。
- ・生活リズムが崩れてしまう児童も見られる。

【具体的な取組】

- ☞新しい生活様式を踏まえた体づくりの活動をとおして、やり抜く力を育てます。(全校体育の充実)
- ☞給食の残食ゼロを目指します。
- ☞にこにこせいかつカード(月1回)で生活のリズム(早寝、早起き、朝ごはん)を整えます。
- ☞避難訓練等の機会をとおして防災教育の充実を図ります。

なわとび



はみがきチェック

校内推進チーム

- ・運営委員会(学力充実委員会)
- ・校内研修推進委員会
- ・特別支援教育委員会(就学指導委員会)
- ・学校保健安全委員会
- ・人権教育推進委員会
- ・学校いじめ、不登校、虐待対策委員会
- ・不祥事防止対策委員会
- ・アレルギー対応委員会
- ・学校改革、働き方改革、衛生委員会

子どもや教職員にとって、心も体も元気でやる気の出る学習環境を整備します。

学校の教育課程を支える基盤(五者及び関係組織)

水俣市教育委員会、保護者(PTA活動)、児童(児童会活動)、教職員組織
水東つ子育成協議会(学校運営協議会)、民生児童委員、水俣市8区の方々等